

「地質の日」元年：ことはじめ

中尾 征三¹⁾・斎藤 眞²⁾・七山 太²⁾・高橋 裕平³⁾
森尻 理恵⁴⁾・原 英俊⁵⁾・中川 充⁶⁾

1. 地質の日とは？

私たちの住んでいる大地は、地層、岩石、土壌などでできています。これらの性質のことを「地質」と呼びます。地質とは、まさに大地の性質＝Quality of Earthのことです。地質はエネルギーやさまざまな素材の基となる鉱産資源、温泉や美しい景観など私たちに豊かな恵みを与えてくれます。また、構造物の建設、地下空間利用や、廃棄物処理などの環境面でも地質は重要な役割を果たします。しかし一方で、地質は、地震、火山噴火、斜面崩壊などによって大きな災害をもたらすこともあります。

このように、「地質」は人間社会と深く関わっていますが、「地質」の重要性や、地質に携わる人々の活動は、一般にはほとんど知られていません。一般の人々が地質をより身近に感じ、理解できることによって、安全・安心で豊かな暮らしが確保できるとともに、地球や環境を大切にすることにもつながります。地質の日は、さまざまなイベントや日常の活動を通じて地質への理解を推進する日として制定されました。

2. 地質の日の由来

5月10日は、明治9年(1876年)、ライマンらによって日本で初めて広域的な地質図、200万分の1「日本蝦夷地質要略之図」が作成された日です。また、明治11年(1878年)のこの日は、地質の調査を扱う組織(内務省地理局地質課)が定められた日でもあります。

3. 「地質の日」元年(第1回)記念行事

平成20年(2008年)5月10日に、全国の地質に関係する人たちと第1回の記念行事(一般向け)を行いました。地質の日は、2007年3月13日に、地質関係の組織・学会が発起人¹⁾となって定められました。その後、「地質の日」事業推進委員会²⁾が発足し、地質の日を広めて来ました(第1図)。

1) **発起人**：日本地質学会、日本応用地質学会、日本情報地質学会、日本古生物学会、資源地質学会、(独)産総研地質調査総合センター、北海道立地質研究所、神奈川県立生命の星・地球博物館、(社)全国地質調査業協会連合会、(NPO)地質情報整備・活用機構(順不同)。

2) **事業推進委員会**：日本地質学会、日本応用地質学会、日本情報地質学会、日本古生物学会、資源地質学会、日本堆積学会、日本第四紀学会、(独)産総研地質調査総合センター、日本科学未来館、北海道立地質研究所、神奈川県立生命の星・地球博物館、(社)全国地質調査業協会連合会、(社)東京地学協会、(NPO)地質情報整備・活用機構、(独)国立科学博物館、全国科学博物館協議会(順不同；2008年8月末現在)。

1) 「地質の日」事業推進委員会委員長

2) 産総研 地質情報研究部門

3) 産総研 東北産学官連携センター

4) 産総研 地質標本館

5) 産総研 地質調査情報センター

6) 産総研 北海道産学官連携センター

キーワード：地質の日、地質、ライマン、普及イベント

5月10日は 地質の日

地質の日とは

私たちの住んでいる大地は、地層、岩石、土壌などでできています。これらの性質のことを「地質」と呼びます。地質とは、まさに大地の性質=Quality of Earthのことです。

地質はエネルギーやさまざまな素材の基となる鉱産資源、温泉や美しい景観など私たちに豊かな恵みを与えてくれます。また、建造物の建設、地下空間利用や、廃棄物処理などの環境面でも地質は重要な役割を果たします。しかし一方で、地質は、地震、火山噴火、斜面崩壊などによって大きな災害をもたらすこともあります。

このように、「地質」は、人間社会と深く関わっていますが、「地質」の重要性や、地質に携わる人々の活動は、一般には、ほとんど知られていません。一般の人々が、地質をより身近に感じ、理解できることによって、安全・安心で豊かな暮らしが確保できるとともに、地球や環境を大切にすることにつながります。

地質の日は、この地質への理解を推進する日として、制定されました。さまざまなイベントや日常の活動を通じて、地質をより身近に感じて下さい。

地質の日は、2007年3月13日に、地質関係の組織・学会が発起人¹⁾ となって定められました。今後「地質の日」事業推進委員会²⁾ が「地質の日」を広めていきます。

1) 発起人：日本地質学会、日本応用地質学会、日本情報地質学会、日本古生物学会、資源地質学会、(独)産総研地質調査総合センター、北海道立地質研究所、神奈川県立生命の星・地球博物館、(社)全国地質調査業協会連合会、(NPO)地質情報整備・活用機構(振替)

2) 事業推進委員会：日本地質学会、日本応用地質学会、日本情報地質学会、日本古生物学会、資源地質学会、日本地層学会、日本第四紀学会、(独)産総研地質調査総合センター、日本科学未来館、北海道立地質研究所、神奈川県立生命の星・地球博物館、(社)全国地質調査業協会連合会、(社)東京地学協会、(NPO)地質情報整備・活用機構、(独)国立科学博物館、全国科学博物館協議会(振替) (2008年1月現在)

地質の日の由来

5月10日は、明治9年(1876)、ライマンらによって日本で初めて広域的な地質図、200万分の1「日本領奥地質要略之図」が作成された日です。

また、明治11年(1878)のこの日は、地質の調査を扱う組織(内務省地理局地質課)が定められた日でもあります。

地質の日記念行事

2008年5月に、「地質の日」を記念して全国の博物館等で「地質」に関係した記念行事(一般向けの観覧会や展示)を行います。

皆様のご参加をお待ちしております。

planetearth
2007-2009

地質の日事業推進委員会事務局：独立行政法人産業技術総合研究所地質調査総合センター
TEL: 029-861-9122、FAX: 029-861-2672、Web: <http://www.ijg.jp/geologyday/>
ここに用いた地質図は、100万分の1日本地質図(国)と(独)日本水産総合研究センターが作成した衛星データJPO30を使用した作成しました。

第1図 「地質の日」事業推進委員会の作成したポスター。

業を行った皆様にお喜び申し上げるとともに、皆様のご努力に敬意を表します。

5月は野外行事に最適な季節であることから地質の見学会等が無事に行われることを期待していましたが、当日の天候不順により一部が中止になった行事もあったとのこと。しかし、全国の博物館や研究機関等で総計77の行事が開催され、全体としては十分な盛り上がりを見せました(第1表)。

「地質の日」元年の事業は成功裏に終わりましたが、この事業は平成21年以降も末永く続けていくものです。事業推進委員会では、今年上手にできたところのやり方を参考に、他の地域でも地域の地質に合わせた形で事業を行えたらよいと考えております。その参考資料として、地質調査総合センターおよび地質ニュース編集委員会と協力し、本誌の1月号と2月号において、「地質の日」元年の特集号を企画することにいたしました。本特集号の記事を参照し、地方の博物館等の関連機関が益々元気になり、またジオパークなどの地質情報を使った地域活性化が進むことを心から念じております。

4. 今年度以降の「地質の日」事業

全国各地で行われた「地質の日」元年の事業は、好評のうちに終了することができました。「地質の日」事

NAKAO Seizo, SAITO Makoto, NANAYAMA Futoshi, TAKAHASHI Yuhei, MORIJIRI Rie, HARA Hidetoshi and NAKAGAWA Mitsuru (2009): The anniversary year of "Geology Day" in Japan: An introduction.

<受付：2008年7月29日>

第1表 日本各地で地質の日に行われたイベント一覧。

全国の博物館等でのテーマ展示（その1）

機関名	都道府県	期間	展示内容
地図と鉱石の山の手博物館	北海道	5月3日～7月31日	北海道の地名のついた石展
穂別博物館	北海道	4月26日～5月25日	穂別のいろいろ化石展
北海道大学総合博物館	北海道	4月29日～6月1日	ライマンと北海道の地質
日本地質学会北海道支部	北海道	5月10日	地質学講演会「知られざるシレトコー知床半島の地質一」
北海道立地質研究所	北海道	5月8・9日 5月13日	地質の日パネル展—地質と生活・産業との係わり— オープンフォーラム「洞爺湖・有珠山との共存」
岩手県立博物館	岩手県	5月10～25日	「地質の日」制定記念～日本最古の東北地質図～
久慈琥珀博物館	岩手県	4月26日～5月11日	琥珀探掘体験教室
		4月26日～6月22日	春季特別企画展「綺麗な昆虫と虫入り琥珀」
産業技術総合研究所 地質調査総合センター	茨城県	4月14日～5月12日	シームレス地質図と化石・鉱物標本展示（経済産業省本館ロビー）
		3月19日～6月29日	青柳鉱物標本の世界
		4月20日	地質標本館普及講演「鉱物の楽しみ」
		5月8日	GSJ第12回シンポジウム地下水と岩石物性との関連～産総研のチャレンジ～
		5月10日	「日本蝦夷地質要略之図」展示
		5月10日	黄鉄鉱ひろい（地質標本館）
		5月10日	つくばの地質説明会
葛生化石館	栃木県	4月26日～6月1日	「地質図」展
		5月10日	「三葉虫をさがせ！」化石採集
千葉県立中央博物館	千葉県	5月4日	石を割ってみよう
		5月5日	1000万年前のミニ化石を探そう
日本地質学会関東支部	東京都	4月19日、5月10日、6月7日	地質技術伝承講習会
生命の星・地球博物館	神奈川県	4月26日～6月13日	地質の日関連展示「地質図等」
		4月5日	講座「地層剥ぎ取り現場見学会」
		4月26・27日	講座「境川遊水地化石ウォッチング」
		5月3日	講座「春の地形・地質観察会」
		5月24・25日	講座「地層の調べ方入門」
		6月1日	貝化石写真教室
相模原市立博物館	神奈川県	3月22日～7月13日	地質図に見る津久井地域の地質
		5月10日、17日、24日、31日	地質学講座「地質図入門～相模野台地編～」
国立科学博物館	東京都	5月6日～11日	かはく・たんけん教室「わたしの化石ひょうほん～アンモナイトのレプリカづくり～」
富山市自然史博物館	富山県	5月10日～20日	地図で見る地質展
中津川市鉱物博物館	岐阜県	5月10日	石割体験
福井市自然史博物館	福井県	5月5日	化石のレプリカを作ろう
		5月6日	ものづくり教室「小石とフェルトのコラボ雑貨」
		5月10日	土で足羽山を描こう
		5月10日	地質学講座「見る・聞く・語る ふくいのおいたち」, 「地層から知るふくい」
		5月11日	地質学講座「見る・聞く・語る ふくいのおいたち」, 「地層見学・美山」
名古屋市科学館	愛知県	5月10日	特別展「世界最大の翼竜展」特別イベント—親子でチャレンジ・化石レプリカづくり—
日本応用地質学会中部支部、名古屋大学博物館	愛知県	5月17日	特別講演会：「地質学と歴史・考古学との出会い」
（独）海洋研究開発機構	新潟県	5月10日	「地質の日」記念講演会
長岡市立科学博物館	新潟県	5月5日～18日	海牛化石速報展
新潟市 秋葉区役所	新潟県	6月7日	石油に関する講演会&野外見学会

全国の博物館等でのテーマ展示（その2）

機関名	都道府県	期間	展示内容
新潟大学「地質の日」制定記念イベント実行委員会	新潟県	5月10日	サイエンスフェスティバル
きしわだ自然資料館	大阪府	5月11日	化石と地質についての講演会
みなくち子どもの森自然館	滋賀県	5月10日	化石のレプリカをつくろう
大阪市立自然史博物館ほか	大阪府	5月10日	地球科学講演会「石油天然ガス資源をめぐる私たちの将来」
兵庫県立人と自然の博物館	兵庫県	4月20日～5月末	恐竜ラボオープン記念・丹波恐竜発掘報告展
		5月3～5日	丹波竜フェスティバル2008（兵庫県丹波市）
		5月5日	丹波の恐竜化石第二次発掘報告会
		5月6日	化石のレプリカをつくろう
		5月25日	石ころクラブ第1回 日本の地質百選
京大大学理学部研究科地球惑星科学専攻地質学鉱物学教室	京都府	5月10日	「地質の日・記念イベント」（京大総合博物館）
島根地質百選選定委員会	島根県	5月10日	山陰・島根ジオサイト 地質百選シンポジウム
		5月10日	隠岐黒曜石による石器づくり体験教室
徳島県立博物館	徳島県	4月1日～6月1日	地質調査と地質図
北九州市立自然史・歴史博物館（いのちのたび博物館）	福岡県	5月10日～	ポケット企画展「生命と地球」
阿蘇火山博物館	熊本県	4月26日～6月20日	企画展示 「地質図」ってなに？（熊本大学との包括的連携事業）

地質見学会（ジオツーリング）

機関名	都道府県	期間	展示内容
地質情報整備・活用機構	岩手県	5月17～18日	宮澤賢治ジオツアー
産業技術総合研究所地質調査総合センター	茨城県	5月17日	筑波山地質巡検（つくば市との共同企画）
群馬県立自然史博物館	群馬県	5月11日	ファミリー自然観察会「地質の宝庫：下仁田探検」
埼玉県立自然の博物館	埼玉県	5月10日	講演会・観察会「秩父・長瀬の地質と岩量を訪ねる」
千葉県立中央博物館	千葉県	5月10日	みんなの観察会「日本の地質百選 観察会 その1 犬吠埼」
		5月11日	みんなの観察会「博物館周辺の地形・地質たんけん」
日本地質学会関東支部	神奈川県	5月中～下旬	箱根火山見学会
神奈川県立生命の星・地球博物館	神奈川県	5月24・25日	地層剥ぎ取り現場見学会
		6月1日	境川遊水地化石ウォッチング
		6月7日	春の地形・地質観察会
横須賀市自然・人文博物館	神奈川県	5月10日	観察会 城ヶ島の地層
日本地質学会近畿支部・山陰海岸ジオパーク推進協議会	京都府・兵庫県・島根県	5月11日	山陰海岸地質見学会
兵庫県立人と自然の博物館	兵庫県	5月10日	多紀アルプス自然探訪（兵庫県篠山市）
		5月11日	春の石めぐりハイキングー二上山ー
二上山博物館	奈良県	5月10日	フィールドワーク二上山ハイキング「二上山誕生のふしぎ」
徳島県立博物館	徳島県	4月20日	海陽町穴喰浦～竹ヶ島の地質見学
島根県立三瓶自然館	島根県	5月3・4日	三瓶山周辺観察会
雲仙岳災害記念館	長崎県	5月10日	平成新山がんばんランド 島原半島地質巡見「親子バスハイキング」